

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【公開番号】特開2018-50840(P2018-50840A)

【公開日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2018-013

【出願番号】特願2016-188875(P2016-188875)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月25日(2019.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベース部に回転可能に支持されて回転駆動される回転レバーと、

前記ベース部に形成されたカム溝と、

前記カム溝内を移動するカムフォロアを有し、前記回転レバーを回転可能に連結された可動部材とを備え、

前記回転レバーの回動により前記可動部材を動かして遊技を演出する遊技機において、前記カム溝には、前記回転レバーが回動範囲の一端である原点に位置したときに前記カムフォロアが位置する部分に、前記回転レバーの回動半径方向と略直交する方向に延びる原点直線部が備えられている遊技機。

【請求項2】

前記カム溝は、複数設けられ、

少なくとも2つ以上の前記カム溝に、前記原点直線部が備えられている遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するためになされた請求項1に係る発明は、ベース部に回転可能に支持されて回転駆動される回転レバーと、前記ベース部に形成されたカム溝と、前記カム溝内を移動するカムフォロアを有し、前記回転レバーを回転可能に連結された可動部材とを備え、前記回転レバーの回動により前記可動部材を動かして遊技を演出する遊技機において、前記カム溝には、前記回転レバーが回動範囲の一端である原点に位置したときに前記カムフォロアが位置する部分に、前記回転レバーの回動半径方向と略直交する方向に延びる原点直線部が備えられている遊技機である。

請求項2に係る発明は、前記カム溝は、複数設けられ、少なくとも2つ以上の前記カム溝に、前記原点直線部が備えられている遊技機である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】